

平成26年度入研協大会(第9回)概要報告

平成26年度全国入学者選抜研究連絡協議会大会(第9回)は、平成26年5月29日(木)、5月30日(金)の両日、国立大学法人岩手大学との共催により、文部科学省、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、日本私立大学団体連合会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会の御後援をいただき、アイーナ いわて県民情報交流センター(岩手県盛岡市)にて開催されました。

150大学359人(高等学校関係者等37人を含む)の方に参加していただきました。

本大会では、1日目には企画討論会と公開討論会、2日目には研究会が行われました。

(1) 企画討論会は、昨年度同様、テーマを考慮して一般の方も聴講できる公開での開催といたしました。

「高校教育・大学入試・大学教育の関係再考」をテーマに3人のパネリストに登壇していただき、報告・意見交換が行われました。

(2) 公開討論会は、共催大学の岩手大学に企画・運営をしていただきました。

「大学進学の実地における現状とその改善方策について」をテーマに3人のパネリストに登壇していただき、報告・意見交換が行われました。

(3) 研究会は、3つの研究会を平行して開催する形で6セッションに分けて開催し、34件の発表がありました。(1件、当日発表取消)

① 第1セッション

「高校教育・選抜方法(1)」に関連したテーマで6件の発表がありました。

② 第2セッション

「入試制度・追跡調査」に関連したテーマで6件の発表がありました。

③ 第3セッション

「AO・推薦」に関連したテーマで6件の発表がありました。

④ 第4セッション

「志願者・受験者の動向・海外比較」に関連したテーマで5件の発表がありました。

⑤ 第5セッション

「高校教育・選抜方法(2)」に関連したテーマで6件の発表がありました。

⑥ 第6セッション

「進路指導・広報」に関連したテーマで5件の発表がありました。

また、大会関連行事として、大会前日には大学入試センターセミナーを開催しました。「基礎的学力を測る一言語運用力試験の開発」をテーマに2人のパネリストによる講演とコメンテーター1人を交えた意見交換が行われました。

本大会も、共催大学の岩手大学の皆様を始め、関係者の御協力により無事終了することができましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、来年度以降の大会をさらに発展させるためにも、より多くの方の御参加をお待ちしております。

※ 公開討論会・企画討論会と大学入試センターセミナーの内容は「大学入試研究の動向」に、研究会の発表内容は「大学入試研究ジャーナル」に掲載し、今年度末に大学入試センターのホームページに掲載する予定です。